



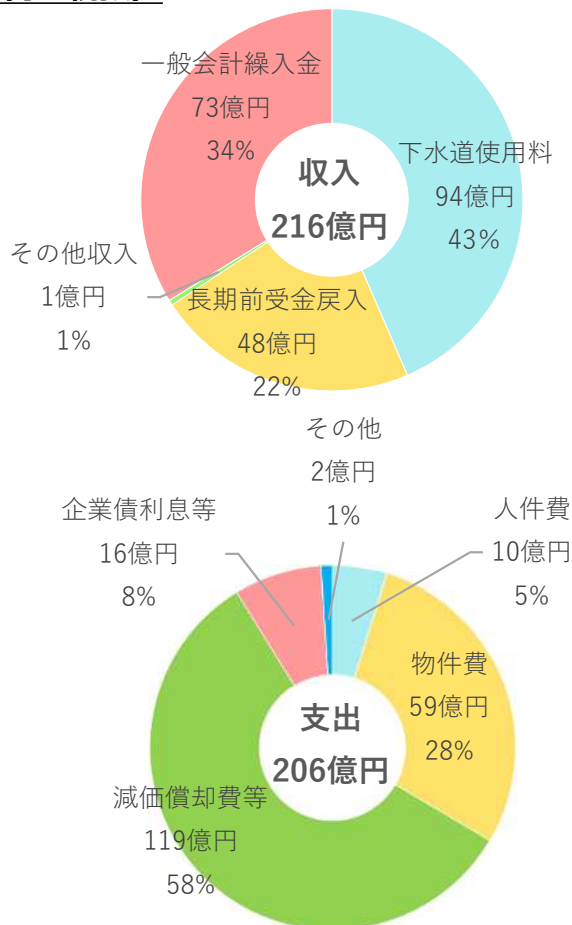
令和5年度 下水道事業決算及び主な実施事業

1 収益的収支（維持管理の収支）

- ・人口減少の影響はあるものの、水洗化率の向上により下水道使用料は前年度並みとなった。
- ・高橋雨水ポンプ場等の下水道施設の供用開始に伴い、減価償却費が増加した。
- ・電気料金の高騰は抑制されたが、労務単価の上昇により委託料が増加し、物件費が増加した。

●R5決算額と予算額、R4決算額との比較（単位：百万円・税抜）

	項目	予算額①	R5決算額②	R4決算額③	対予算②－①	対前年度決算額②－③
収益的収入	下水道使用料	9,522	9,426	9,431	▲ 96	▲ 5
	長期前受金戻入	4,763	4,759	4,617	▲ 4	142
	その他収入	68	112	105	44	7
	一般会計繰入金	7,439	7,314	6,705	▲ 125	609
	収入計	21,792	21,611	20,858	▲ 181	753
収益的支出	項目	予算額①	R5決算額②	R4決算額③	対予算②－①	対前年度決算額②－③
	人件費	1,024	1,004	913	▲ 20	91
	物件費※	6,605	5,914	5,793	▲ 691	121
	減価償却費等	11,931	11,916	11,366	▲ 15	550
	企業債利息等	1,628	1,620	1,759	▲ 8	▲ 139
	その他	51	186	208	135	▲ 22
	支出計	21,239	20,640	20,039	▲ 599	601
収支	経常損益	553	971	819	418	152



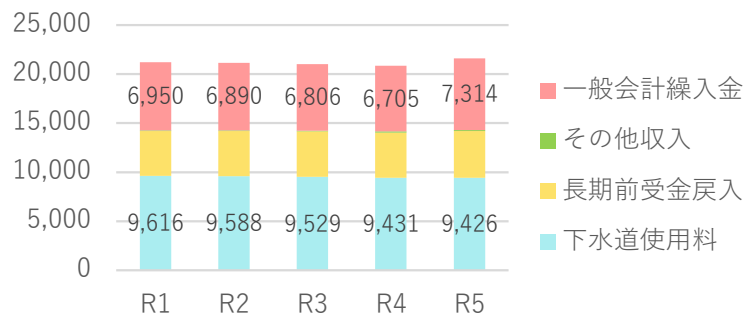
※物件費：動力費、修繕費、委託料等

※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、合計額や差引が一致しない場合があります。

※決算について、R4からR5への繰越額も含まれます。

収益的収入（税抜き）

（単位：百万円）



<下水道使用料>

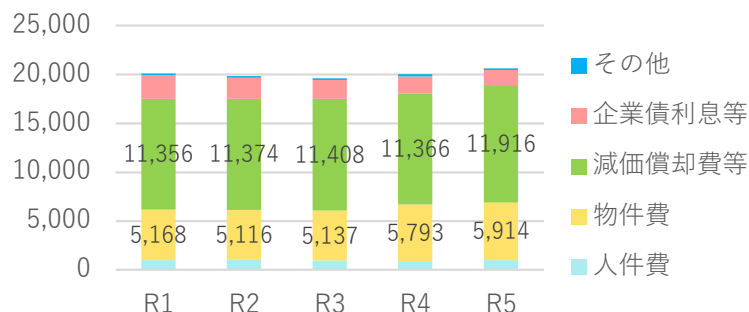
過去5年間は横ばいで推移しているものの、人口減少に伴い減少傾向となっているため、今後も減少が見込まれます。

<一般会計繰入金>

令和4年度までは、企業債利息の支出額の減少等により約1億円ずつ減少し続けていましたが、令和5年度は雨水ポンプ場の供用開始等により雨水処理負担金が増加し、繰入金全体も増加しています。

収益的支出（税抜き）

（単位：百万円）



<物件費>

令和4年度は電気料金の高騰による動力費の増加、令和5年度は労務単価の上昇による委託料の増加により、近年は増加傾向にあります。

<減価償却費>

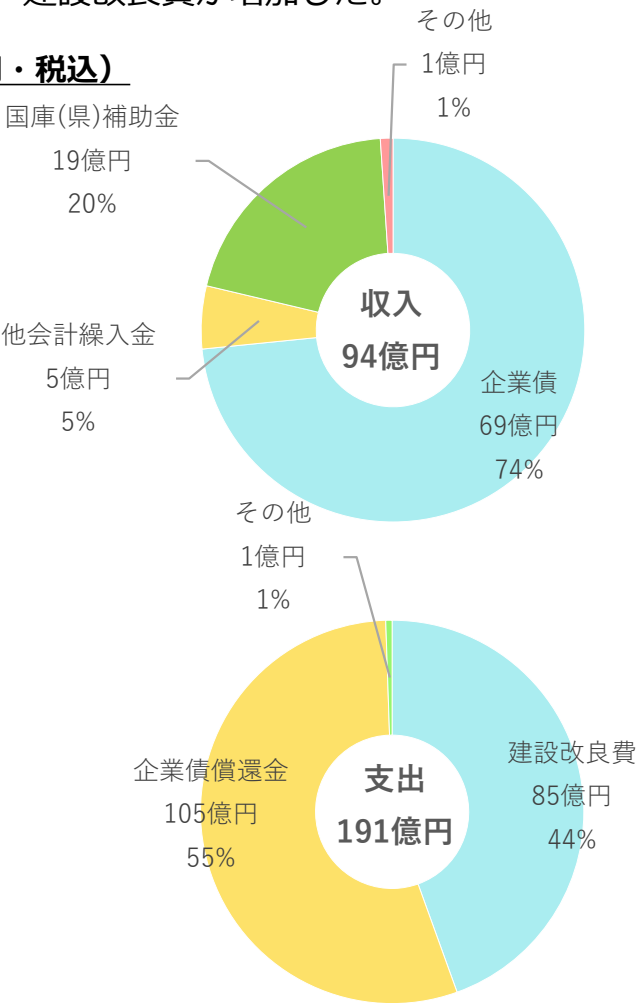
令和4年度までは横ばいで推移していましたが、令和5年度は供用開始した雨水ポンプ場等の影響により増加しています。

2 資本的収支（建設投資の収支）

- ・起債対象事業の減少に伴い、企業債借入額が減少した。
- ・国庫補助事業の減少に伴い、国庫補助金収入額が減少した。
- ・建設改良委託が増加したことにより委託料が増加し、建設改良費が増加した。

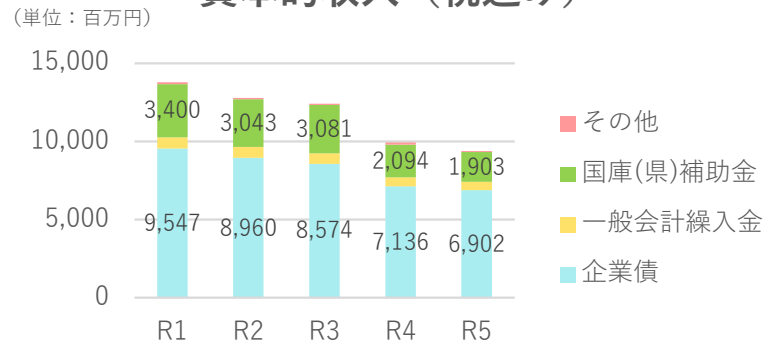
● R5決算額と予算額、R4決算額との比較（単位：百万円・税込）

資本的収入	項目	予算額①	R5決算額②	R4決算額③	対予算②－①	対前年度決算額②－③
	企業債	12,826	6,902	7,136	▲ 5,924	▲ 234
	一般会計繰入金	524	524	569	0	▲ 45
	国庫(県)補助金	3,247	1,903	2,094	▲ 1,344	▲ 191
	その他	72	59	145	▲ 13	▲ 86
	収入計	16,669	9,388	9,944	▲ 7,281	▲ 556
資本的支出	項目	予算額①	R5決算額②	R4決算額③	対予算②－①	対前年度決算額②－③
	建設改良費	15,246	8,509	8,222	▲ 6,737	287
	企業債償還金	10,487	10,487	10,260	0	227
	その他	100	100	1,100	0	▲ 1,000
	支出計	25,833	19,096	19,582	▲ 6,737	▲ 486



※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、合計額や差引が一致しない場合があります。
※決算について、R4からR5への繰越額も含みます。

資本的収入（税込み）



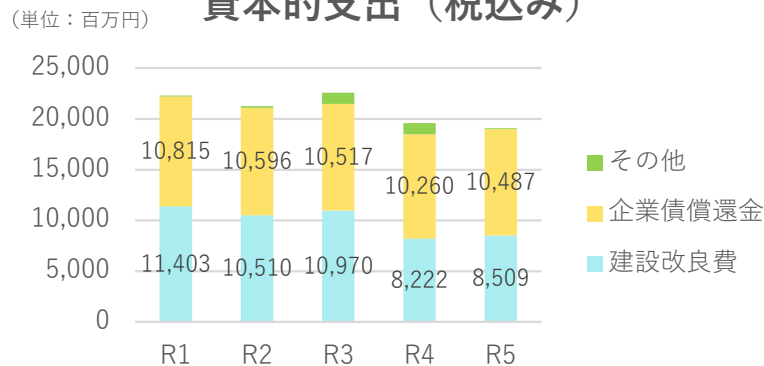
<企業債>

企業債の借入額は、減少傾向となっている。特に、令和4年度及び令和5年度は、起債対象事業費が減少したことに伴い、下水道事業債の借入額が大きく減少しています。

<国庫（県）補助金>

企業債と同様に、国庫補助事業費が減少したことにより、国庫補助金収入が減少しています。

資本的支出（税込み）



<建設改良費>

令和4年度は、浸水対策事業の減少等に伴い減少したものの、令和5年度は地震対策事業の増加等に伴い増加しています。

<企業債償還金>

企業債の償還年次が進み、未償還残高が減少しているため、償還金は減少傾向にあります。令和5年度は、平成25年度に借入した下水道事業債の未償還残高を、一括償還したことにより増加しています。

3 主な事業

政策1 危機管理を強化する。

○重要な管・施設の強靱化（決算額 11.9億円）

- ・地震災害の被害を最小限にするとともに、迅速な対応により早期の機能回復が可能となるよう、特に重要な下水道管を耐震化
- ・津波発生時に下水道管内の津波遡上を防ぐよう、雨水管吐口にゲートを設置

＜実施した主な事業＞

- ・下水道管の地震対策 9.2 億円（5.4 km）、令和6年度への繰越 9.8 億円
高松処理区（本通地区ほか）、中島処理区（聖一色地区ほか）
などで管の耐震化工事を実施

＜成果指標：特に重要な下水道管の工事に係る耐震管率＞

目標値	実績値	成果指標 達成状況
70.2%	70.7%	100.7%



高松処理区の耐震管工事

○浸水対策（決算額 21.2億円）

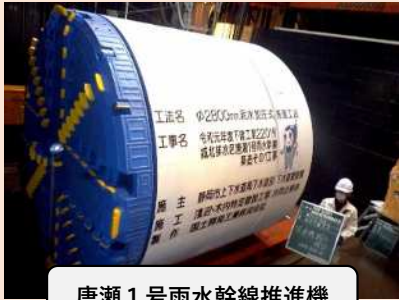
- ・雨水管、ポンプ場などの整備を進め、速やかに雨水が排除されることで浸水被害を軽減

＜実施した主な事業＞

- ・雨水管、ポンプ場などの整備 19.6 億円（198m）、令和6年度への繰越 16.4 億円
城北排水区 唐瀬1号雨水幹線築造工事
巴川右岸第2排水区 渋川雨水ポンプ場土木工事
大沢排水区 大沢雨水1号幹線築造工事

＜成果指標：浸水対策率（対策完了地区数）＞

目標値	実績値	成果指標 達成状況
65.3% (17地区)	65.3% (17地区)	100%



唐瀬1号雨水幹線推進機

政策2 持続可能に管・施設を運用する。

○管・施設の老朽化対策（決算額 35.4億円）

- ・法定耐用年数を経過した管、標準耐用年数を経過した資産を中心に実施した調査・点検に基づく改築を行い、経年劣化による事故等を未然に防止

＜実施した主な事業＞

- ・下水道管の改築 15.9 億円（8.8 km）、令和6年度への繰越 3.0 億円
高松処理区（鷹匠地区ほか）、城北処理区（東深草町地区ほか）などで管の改築工事を実施
- ・下水道施設の改築 12.7 億円、繰越 14.5 億円
長田浄化センター監視制御設備改築工事
中島雨水ポンプ場流入ゲート設備改築工事

＜成果指標：管きょ100 km当たりの陥没箇所数＞

目標値	実績値	成果指標 達成状況
0.4箇所以下 /100 km	0.44箇所 /100 km	90.9%



改築工実施前後の
下水道管

政策3 環境への負荷を軽減する。

○水環境の保護・改善（決算額 16.6億円）

- ・公共用水域の水質保全や公衆衛生の向上

<実施した主な事業>

- ・中島処理区（服織地区、大谷地区ほか）
 - ・静清処理区（長崎地区、飯田地区ほか）
 - ・北部処理区（西久保地区）
- 20haを整備 9.2億円、令和6年度への繰越 7.7億円
令和5年度末 接続戸数
267,454戸（前年度比+2,825戸）

<成果指標：水洗化率（戸数）>

目標値	実績値	成果指標 達成状況
91.4%	91.8%	100.4%



下水道管布設（開削工法）

政策4 お客さまサービスを向上させる。

○接客・窓口サービスなどの充実

- ・多様化・高度化するお客さまニーズを的確に把握し対応することで、お客さまサービスの向上を図る

<実施した主な事業>

- ・上下水道事業検針・収納等業務委託 4.1億円
- ・料金等徴収のキャッシュレス決済推進

電子マネー支払（LINE Pay・PayPay・auPAY・楽天ペイ・d払い）による請求書払い、銀行口座からの即時引き落とし（楽天銀行コンビニ支払サービス、PayB）5.5億円（7.6万件）※令和5年度収納実績

<成果指標：キャッシュレス決済率（収納件数の構成比）>

目標値	実績値	成果指標 達成状況
75.76%	76.46%	100.92%



政策5 信頼される経営を確立する。

○財政の健全化

- ・企業債残高の適正な管理
- 目標どおり企業債残高を適正に管理している

